

結婚 60年

ダイヤモンド婚式

今年で、結婚六十年をめでたく迎えられたご夫婦は市内で五組います。

一口で六十年といってもピンときませんね。二十歳で結婚したとしても八十歳です。そんな五組の方々に、どうしたら二人そろって長生きができるのか、お話をうかがいその秘訣を探りだしてみようと思います。



渡邊竹二郎・ひで子さん夫妻
(下谷3-8-14)



渡邊修三・せつ子さん夫妻
(鹿留1334)



和光喜照・秋子さん夫妻
(厚原284-1)



山本徳良・ふじ江さん夫妻
(小形山641)

「心臓があまり良くないので最近はお外に出たり、好きなものをたくさん食べることができないので、ちよつと残念です」というおばあちゃん。「だけど、生きていれば、いいこともたくさんあるでしょう」という顔は、まだいきいきしていました。

「朝早く起き、夜も早く寝ること、食事のバランスに気を付けて、物事にくよくよしないことが長生きの秘訣だよ。たまには口げんかぐらいはするが、おじいちゃんがだまっているのだからにはならないよ」と、おばあちゃん。

「若いころは毎日の生活に追われて大変でした。特におばあちゃんは、嫁にきた時に家族が十二人もいて苦労したと思います」と、今は寝たきりになってしまったおばあちゃんを気遣うおじいちゃん。

「七十二・三歳までは、二人で田や畑に行ったり、ゲートボールをしていたが、おばあちゃんがこのところ足の調子が良くないので、最近ほとんど二人で家にいることが多いです」というお二人。

今でも習字や俳句を趣味として楽しんでる竹二郎さんが、この日のために俳句を書いてくれましたので、紹介します。

食べ物も好き嫌いがなく、なんでも召し上がるそうですが、おばあちゃんは特に甘いものが好きで、おじいちゃんは肉や果物が好物だそうです。

◎新涼や 病妻を看取りつ 祝 敬老
◎寿 賜くる金杯 ダイヤ婚 祝 敬老
おばあちゃんと二人で迎えたダイヤモンド婚式。竹二郎さんの気持ちが伝わってくる俳句ですね。

また、おばあちゃんは朝起きると外に出て、山の神さんにお祈りをし、軽い体操をするようにしているそうです。



佐藤喜知雄・きくゑさん夫妻
(小形山1732)

おじいちゃんは、朝五時に起きて散歩するのが日課で、その後、新聞を読んでおばあちゃんに教え

るんだそうです。健康の秘訣は、できるだけインスタント類の食べ物は控えて、煮物を中心に食べ、あまり大食をしないことだそうです。

また、おじいちゃんから、植木のせん定の仕方を教わり、今ではおばあちゃんが、庭の植木を手入れするそうです。話し好きで元気なおばあちゃんでした。

「朝早く起き、夜も早く寝ること、食事のバランスに気を付けて、物事にくよくよしないことが長生きの秘訣だよ。たまには口げんかぐらいはするが、おじいちゃんがだまっているのだからにはならないよ」と、おばあちゃん。

毎朝五時半に起きて、八時ごろ二人で畑に行くことが楽しみで、少し前までは、十件ぐらいの野菜を一反五畝の畑に作っていたそうです。今でも数件分の家の野菜を作っているとか。

こうして好きなことをやりながら、体を動かすことがいいのかもありませんね。